

# 「ハーモニー だより」



第77号

平成29年9月1日発行

医療法人 明医研 広報誌



医療法人  
明医研



WARM & RELIABLE

- 緑 区 ハーモニッククリニック  
れんけい訪問看護ステーション  
明(めい)サポートヘルパーステーション
- 南 区 デュエット内科クリニック  
ケアメイト訪問看護ステーション
- 中央区 アトリオ訪問看護ステーション

『緊張感を乗り越えて』



医療法人 明医研  
理事長 中根 晴 幸

今年の夏は特に後半、関東地方では珍しい長雨が続き、気温変化も大きく、台風もあり、荒れた気候でした。ご家族の夏休みには、楽しみにされた企画が叶いましたでしょうか？ さいたま市にも豪雨被害がありました。が、ご無事だったでしょうか？

1年の半分を過ぎますが、今年も健診あるいは外来診療の中で、有り難くない病気に会おうとに緊張させられます。幸いなことに、当院でがんが見つかった場合、10人に9人は早期発見で、直ちに治療を受けて快方に向かっています。先日は、80歳になられたS女さんが腹部の張りを自覚するとの訴えでCT検査したところ、肝臓に大きな腫瘍が見つかりました。転移が無いのを確認し県立がんセンターに紹介したところ、1ヶ月経たずに入院手術を受けられて、笑顔で外来に戻って来られました。がんはお互いの心配のタネ第1位ですが患者さんと共に最善の経過を目指して対応し、良い結果を得れば真に嬉しく、こうした時は患者さんにも自分達にも、天から授かった運があるように感じてしまいます。

怖い思いもしますが、外来は皆さんの元気を支える仕事です。お盆明けの初日、80代の先輩患者さんをお待たせして恐縮していたら「先生、忙しいのに元気だね！負けてらんねーな！」と反対に応援の言葉をいただき当方も癒されています。

8月初めに明医研の開院記念行事を行いました。今年は22周年という、自由度の大きい記念日でしたので明医研の全部門を5分割した20数名ずつの職員が交流する新企画を工夫して楽しみました。

これからも明るさを大切に、皆さんの健康生活を支え、温かく頼りになる医療機関として成長できることを願っています。

『日本在宅医学会発表(名古屋)』



デュエット内科クリニック  
院長 大和 康 彦

6月名古屋で開催された日本在宅医学会で「癌性疼痛に対する在宅PCAポンプ14症例の検討―工夫や問題点を中心に―」と題し、ポスター発表を行いました。PCAポンプとは、麻薬系注射液を持続的に投与し、かつ疼痛時にボタンを押すことで追加分の薬液が注入できる治療機器で、患者さん自らが痛みのコントロールに関われる、

満足度の高い治療方法の一つです。今回、在宅医療を行う医師だけでなく、そこに関わる多職種の方々が参加した全国規模の学会で、全国で切磋琢磨している仲間達と再会し、多くの質疑応答を行い、今後の健闘を誓い合った有意義な機会でした。

『正しい知識で対策をーヒアリ編ー』



ハーモニークリニック  
医局長 中井 秀 一

ヒアリの研究は少ないようですが、ヒアリの毒が人体に全身性の影響があるか証拠は乏しく、ヒアリ生息域の51%の人が1年に1回刺されています。一番の心配はアナフィラキシー(原因の1位は食物摂取が332%、2位が虫刺症185%)です。アナフィラキシーは15分以内の発症がほとんどで1時間経過すればまず起こりません。とはいえ刺されると腫れるなど局所症状が出現します。ヒアリは夏が毒素の濃度が高く、攻撃性も増すとされます。環境省のホームページが参考になります。まとめると、大事なのはヒアリかどうかではなく蜂などでも起きるアナフィラキシーに注意することです。情報が溢れる時代ですが、何事も正しい知識で対策しましょう！

## 『もったいないのが日本特有の定年』



医療法人 明医師  
内 科 市川 家 國  
特任 医師

日本は、ヒドイ差別の国だ。相変わらずの定年退職制度と女性の就職難。年齢・性別は厳然として存在する。人種差別の方は、気づかれてもいない。それでも、さすがNHK。最近やつと気が付いたらしく、「日本人の横綱を！」と言うのを止めて、「日本出身の横綱を！」と言い換えた。「在日」の存在に気付いたからか。それでもやっぱり、日本全体ではモンゴル育ちの白鳳関には冷たい。「人種差別の国」と日本人が非難する米国で長年診療業務に当たっていた頃、私はあんな扱いを受けたことがない。

ここまでの話は職業上の人種・年齢・性別差別。次は更に問題の社会生活上の差別。先ず、人種。東南アジアからの人々の生活のなんと慎まじやかなことか。そこからはニューヨークの彼らの生活ぶりは想像し難い。そして、年齢と性。「賞味期限切れ」、「ばばあ」などは、漫才などでお笑いを引き出す際の慣用句。そして、テレビ広告でさかんに強調される「シワ」と「シミ」。こんな環境で洗脳されてか、年齢と

ともに彼女らの服装からは色が消え、肌が見えなくなる。そうそれはそうと、「白粉（おしろい）」、「美白」という言葉は英語に訳は無いのです。

日本が異常と知る機会には僅かに開いた窓から見える海外の景色。映画007の最初の場面に登場する秘書は年配の女性。国際ニュースのアナウンサーも年配の女性。そして、テレビ画面で見た米国の前駐日大使のキャロライン・ケネディの素顔。

本当は、人は男女とも歳を重ねるほど魅力が増す。「生殖能」という共通項が外れることによって、本人の個性へと純化されるからだ。女性の場合は、そこに副腎からの女性ホルモンに従って、ファッシュョンに気を遣っていただければ最高だ。

## 『医師の研修に際しご協力を』

よろしくお願ひ致します』



ハーモニークリニック  
医師 市川 聡 子

今年も昨年に引き続き、研修医・学生が当院で地域医療の研修をする時期となりました。今年は10月～11月にかけて、埼玉医科大学病院と慶應義塾大学病院の初期研修医・学生が、外来・訪問診療・訪問看護・

## 『彩の国連携力育成プロジェクト』



ハーモニークリニック  
内科 松 林 洋 志

訪問介護の部門において研修をいたします。平成16年度から始まった医師臨床研修制度により、地域の診療所・病院での研修は必修化されており、大病院での研修だけでは身につけられない、頻繁に関わる疾病や負傷の診断治療や、患者さんの日常生活や地域の特性に即した医療、診療所の役割について学びます。研修に際し、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願ひ致します。

平成24年度文部科学省の「大学間連携共同教育推進事業」の採択を受け、埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学が取り組むこのプロジェクトに、当院は今年も協力医療機関として参加しました。れんけい訪問看護ステーション土屋昭子看護師の厚いサポートと患者さんの協力を得て、医師・看護師・薬剤師・建築士・介護福祉士などを目指す学生達が多職種間の「連携と協働」を学ぶ場を提供することができました。連携意識の高い専門職育成への協力も当院の使命の一つ。今後も積極的に取り組んでいく所存です。

企画推進室から

新宿ヒロクリニックス英裕雄先生が  
明医研の在宅医療を視察されました



(中根晴幸理事長と英裕雄先生)

宿区大久保で外来診療と在宅医療を行っており、永六輔さんの主治医であったことでも有名な先生ですが、約20年前には、一時期ハーモニークリニックで診療をサポートしてくれていました。

今ではその言葉が徐々に浸透してきた「かかりつけ医」「総合診療」「在宅医療」。まだまだその認知度が低い時代であった20年前から、英先生と中根理事長は在宅医療の質を向上させるために目的を共有し、共に社会的使命をもって取り組んできた同志でもあります。

7月に医療法人社団三育会新宿ヒロクリニックスより英裕雄（はなぶさひろお）先生が、ハーモニークリニックの在宅医療を視察されました。英先生は新

今回の視察では、明医研の在宅医療におけるチーム医療をご覧いただきました。また、英先生より新宿ヒロクリニックスが新宿区で展開している在宅医療の取り組みと地域特性を踏まえた課題について情報提供いただきました。

高齢化社会の進展の中で、社会的要請がますます高まる在宅医療。医療の急速な進歩に伴う在宅医療のニーズに応え、患者さんに温かさや信頼を届けるといふ重責を改めて感じられる一日となりました。

地域のみなさんを対象とした在宅医療に関する公開セミナーを開催します

高齢化社会を生きる私たちにとって「在宅医療」は密接なキーワードとなってきました。長年さいたま市内で在宅医療を行ってきた実績を踏まえ、私たちを取り巻く医療環境、自宅での療養はどのように行われるのか、事例を通じて患者さんの声、ご家族の想いなどを「次代を担う医療者のための地域医療実践読本」著者・ハーモニークリニック院長である中根理

**第2回(武蔵浦和) 主催 医療法人明医研 参加費無料**

**地域の方々への在宅医療公開セミナー**  
～医療に教わる「在宅医療」のスズメ～

高齢化社会を生きる私たちにとって在宅医療は密接なキーワードとなってきました。英先生は市内で在宅医療を行ってきた実績を踏まえ、私たちを取り巻く医療環境、自宅での療養はどのように行われるのか、事例を通じて患者さんの声、ご家族の想いなどを「次代を担う医療者のための地域医療実践読本」著者・ハーモニークリニック院長である中根理

**日時** 10月14日(土) 14:30～16:30

**場所** 埼玉県産産連 研推センター1階 103会議室

**対象** 南区・浦和区近隣にお住まいの方  
を中心に在宅医療や介護に関心のある方  
医療介護関係者も歓迎します

**申込方法** 申込みはメールまたは電話  
[締め切り10月12日または定員に達するまで]  
info@meiken.or.jp または  
048-875-7884(土・日・夜間・休日も受付)

**セミナー講師**  
「次代を担う医療者のための地域医療実践読本」著者  
医療法人明医研 理事長 ハーモニークリニック院長  
医師・医学博士 **中根 晴幸**

(画像は第2回ご案内より)

事長より「医師に教わる『在宅医療』のスズメ」と題して講演させていただきます。

自宅で療養するということについて、地域の皆さんとともに考えていくきっかけになればと思います。同一のセミナー内容で2回開催いたします。みなさまのお住まいに近い会場での参加を心よりお待ちしております。

(事前登録制・詳細はホームページをご覧ください)

**第1回(東浦和)「ハーモニークリニック」開催)**  
9月2日(土)  
14時～16時(2時間)

**第2回(武蔵浦和)「埼玉県健康産連」開催)**  
10月14日(土)  
14時30分～16時30分(2時間)

なるほど健康講座

「副鼻腔炎」



ハーモニークリニック  
医師 有馬 聖 永

風邪を引いて一旦は熱が下がったけど数日してぶり返してきた。鼻詰まりだけかなかなか治らない。いつも鼻水が喉の奥に垂れてくる(後鼻漏)。このような症状のときには副鼻腔炎を考える必要があります。

■副鼻腔炎とは

鼻の奥の鼻腔の周りには鼻腔とは別に骨に囲まれた空洞がいくつか存在します。いずれの空洞も鼻腔とつながっており、副鼻腔と呼ばれます。風邪を引いて鼻炎を起こすとしばしば炎症がその周囲にも広がって副鼻腔炎となるのです。ほとんどは鼻炎から続発するものなので、より正確には鼻副鼻腔炎と言います。

■症状と診断

症状としては膿性鼻汁・後鼻漏・鼻閉の他、頭痛・顔面の違和感・嗅覚障害などが挙げられます。このような典型的な症状に加え、CT・レントゲン・内視鏡等の客観的な検査での所見も診断に有用です。CT検査では副鼻腔粘膜の肥厚・粘液の貯留・鼻茸の有無などを診ることができます。顔

面のレントゲンでもCTほど正確でないもののある程度の情報が得られます。

■急性副鼻腔炎

急性副鼻腔炎の程度は様々ですが、多くは何もしないでも自然に治っていきます。症状や経過に応じて抗生物質を内服します。お子さんの場合は長めの投与が必要です。補助的治療として抗ヒスタミン剤や去痰剤、点鼻薬等を服薬します。多くは自然治癒するといっても、稀に炎症が進展して脳膿瘍や眼窩蜂窩織炎など重篤な疾患に至ることもあり、注意は必要です。

■慢性副鼻腔炎

副鼻腔炎症状が慢性に(12週間以上)続く状態が慢性副鼻腔炎であり、俗に蓄膿症ともいいます。炎症はウイルスや細菌感染の影響だけではなく、ダニやカビ等のアレルギー、煙草などの有害物質、粘膜線毛の機能的異常、アスピリン系薬剤に対する過敏受性などが複合的に絡み合ったものです。抗生物質に加えて炎症を抑えるステロイド剤を短期間服用することで一定の改善が期待できます。しかし、風邪などをきっかけに再燃・急性増悪をきたすことも多く、点鼻薬などの維持療法を続けることが一般的です。経過によっては耳鼻科での外科的治療を行い、症状コントロールが良好となることもあります。

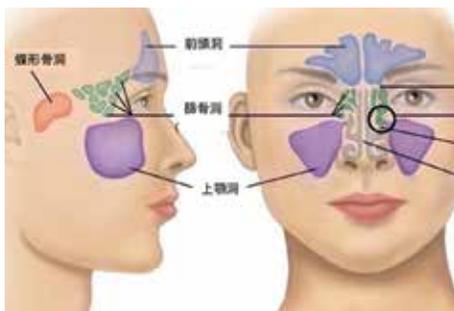
■副鼻腔炎の予防

アレルギー性鼻炎がある方はこまめな掃

除や抗アレルギー剤の服用などで普段から粘膜の状態を良くしておきましょう。生理食塩水での鼻うがいも有効です。ドラッグストアでは専用の洗浄液が市販されています。喫煙は副鼻腔炎の明らかなリスク因子となります。当院の禁煙外来をご活用下さい。

■副鼻腔の存在意義

ところでこのような疾患の場となる副鼻腔は一体何のためにあるのでしょうか？諸説の一つに音の定位を感じるといいます。音がどの方向から鳴っているということが分かるのは一つは副鼻腔で反響した音を骨伝導で捉えているからなのです。両耳の後ろにも乳様突起と言われる副鼻腔と似たような空洞があり。これらは主に後ろからの音の定位に役立っています。ホームシアターの5.1chサラウンドシステムと同じように人の体にも天然のスピーカーが配置されているんですね。



職員から

『ありがとうを励みに』



ハーモニークリニック  
松木麻務・総務 佐々木 秋一

今年の10月で、ハーモニークリニックに入職して1年が経とうとしています。主な業務は、往診ドライバーを担当しております、佐々木秋一と申します。

直接患者さんと接する事は少ないのですが、診察終了後、ご家族の方から「ありがとうございます」のお言葉頂くことがあります。

医療関係で仕事をさせて頂くのは初めてですが、少しだと思えますが患者さんの治療に貢献が出来たかと嬉しく思います。

7月より、配属の部署が移動になり、庶務・総務の配属になりました。往診ドライバーと並行して、院内の外来や処置室などの環境整備とメンテナンス等、日常の清掃では困難な場所の掃除、更に先生方や職員のお手伝いをし、「ありがとう」を、頂き嬉しくもあり楽しく仕事をさせて頂いています。

まだまだ至らない事がたくさんあると思いますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

『安心して相談できる場所』



れんけい訪問看護ステーション  
訪問看護師 武笠 安代

れんけいに入職してもうすぐ12年になります。

職場の雰囲気も良く、皆さん方の向上心に刺激を受けて、やりがいのある仕事をさせて頂いていただいています。仕事の悩み、個人的な悩みまで相談でき、一人で抱え込む事もありません。ですが、時々本当に役に立っているのか心配になる事があります。

その疑問を利用者さんの家族に聞いたことがあります。「何かあればすぐに相談できる場所がある、それはとても大きな助けになった。」と話してくれました。その言葉は私達の大きな喜びでした。その言葉に近づけるようにこれからも頑張っていきたいと思ひます。

『先輩から学ぶ』



ケアメイト訪問看護ステーション  
訪問看護師 加藤 史織

明医研に入職して3ヶ月、新しい環境は緊張と覚えることの連続で日に必死でし

た。そんな状況ではありましたが、たくさんの方々に支えられていることをヒシヒシと感じております。この場をお借りして感謝申し上げます。そして、ケアメイトの先輩方からは看護への熱意、正直さ、真剣さを感じ、多くの考えを教えて頂きました。

先日は訪問先で「あなたからは一生懸命やろうとするやる気を感じる。また来てほしい。」というお言葉を頂きました。今の私にとってはありがたいお言葉で、とても嬉しく、励みになる反面、このまま「自分自身に一生懸命」ではだめだなあと感じています。その人に、家族に、真剣に正直に向き合っているか。自分に問い、患者さんの貴重な時間を支える意識を持って、多くのことを吸収していきたいと思っています。

新入職員紹介

- 明医研法人本部  
企画推進室 田村 佳奈(たむら かな)
- ハーモニークリニック  
外来看護師 木村 美幸(きむら みゆき)  
長岡 加恵子(ながおか かえこ)  
医療秘書科 飯田 雅子(いいた まさこ)  
磯野 佐記子(いその さきこ)
- ケアメイト訪問看護ステーション  
訪問看護師 西 真由美(にし まゆみ)  
佐伯 聡子(さえき さとこ)
- 明サポートヘルパスステーション  
介護士 清水 寛子(しみず ひろこ)

# ふれあいホームページ

## 『趣味はブリッジ』

緑区在住 佐藤 盟子さん (84歳) について

世界に1億人の



競技人口がいるトランプカードゲーム「ブリッジ」を楽しまれている佐藤盟子さんをご紹介します。佐藤さんは、ご主人の

介護でブリッジを一時中断されていましたが、3年前、そのご主人がお亡くなりになり、情緒不安定になられていましたが、「これではいけない、何かやらなくては・・・、目的を持って出かけることが大事!」と再び針ヶ谷公民館の週一回のブリッジの会に入り4時間メンバーとプレイされ、会がない日はご自宅でルール本で頭の体操になると勉強されています。若い方も沢山います。勝負するからには勝ちたいですと前向きです。

今回、ふれあいホームページの掲載が決まり、佐藤さんにご自宅でブリッジのお友達とプレイすることを企画されました。その競技風景の撮影にお伺いした時に、Aさ

んは「佐藤さんがブリッジに参加されると楽しい」、そしてBさんは「私達も佐藤さんから元気をもらっている」と、話されていきました。そんな、佐藤さんにお子さん達も「ママ、頑張って」と応援してくれているそうです。

そしてもう一つ、在宅看護、介護に力をいれている明医研と関わり、人生の最後を自宅で迎えられると・・・佐藤さんは考えられています。そして、今後趣味も継続していくためにも、できれば自宅でブリッジを地域の方々とプレイできたらと切望されています。佐藤さんと一緒にブリッジを始めたい方がいらっしやいましたら、ハーモニークリニックの受付職員か、検査科福田までお声かけください。

趣味を楽しむことは、日々の生活を豊かにし、余生に希望を与え、人と人を繋げてくれる魔法のように感じられます。

インタビュー

検査科 主任

福田 由記子



お友達とご自宅でブリッジ中

## 明医研 ニュース

●医療法人明医研が8月に開設22周年を迎えました。今年は、各部署にわかれ8月5日(土)に懇親会が執り行われました。(表紙①)

●平成29年8月21日～23日ハーモニークリニック院内において、IPW(多職種連携)実習が行われました。参加された学生の方々が多くの質問をされていました。(p3 松林洋志先生本文参照)

●中根晴幸理事長先生による第2回在宅医療公開セミナーを、平成29年10月14日に、武蔵浦和「埼玉県健康産連」にて開催します。

現在も参加受付中です。ご興味のある方がいらっしやいましたら、デュエツト内科並びにハーモニークリニック受付までお声かけください。

## 表紙写真紹介

- ① 明医研22周年  
(中根理事長先生とれんげい・明サポート職員会食)
- ② 日本在宅医学会発表(名古屋) 大和デュエツト院長
- ③ 新宿ヒロクリニク英先生と 中井医局長
- ④ 多職種連携  
(松林先生が実習生に講義中)

